

大規模開発行為工事進捗状況報告要領を次のように定める。

大規模開発行為工事進捗状況報告要領

第1 趣 旨

この要領は、大規模開発行為に関する指導要綱（平成4年3月31日宮城県告示第433号）第16条に規定する、開発行為に係る工事の進捗状況の報告に関し必要な事項を定めるものとする。

第2 工事進捗状況報告書

- (1) 開発行為者は、年2回、3月31日及び9月30日現在の工事の進捗状況について工事進捗状況報告書を作成し、翌月の15日までに、当該市町村長及び知事（地方振興事務所長又は地域事務所長を経由）に提出するものとする。

- (2) 工事進捗状況報告書は次の書類について作成するものとする。

① 現況図面

イ 縮尺 1/1,000～1/5,000

ロ 図面には、開発区域線を明示し、工区の区分があれば同様に明示すること。

ハ 各種工事の進捗状況について次により着色明示すること。

（イ）整地箇所（完成：塗りつぶし，工事中：縁取りハッチ。以下（ホ）まで同じ。）切土：薄茶色，自然緑地：濃茶色）

（ロ）緑地箇所

造成緑地：薄緑色，自然緑地：濃緑色

（ハ）防災施設箇所：橙色

（ニ）道路箇所：灰色

（ホ）建物等施設箇所：赤色

（ヘ）工事未着工箇所（未着工の箇所を明示すること。）：無色

ニ 撮影箇所，撮影方向を明示した写真を添付すること。

② 工事進捗状況表（様式第1号）

第3 土砂災害時の報告

開発行為者は、開発行為に関連して土砂災害等が発生した場合には、直ちに、災害報告書（様式第2号）に写真を添え、知事に報告するものとする。

第4 多雨量時の報告

開発行為者は、開発区域内の降雨量が1日当たり50ミリ又は1時間当たり20ミリを越えた場合には、直ちに、降水状況報告書（様式第3号）により知事に報告するものとする。

第5 その他

第1から第5までに規定するもののほか、工事の進捗状況について知事が必要と認め、指示した場合には、開発行為者は速やかにその状況を報告するものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この要領は、平成21年4月1日から施行する。
(大規模開発行為工事進捗状況報告作成要領等の廃止)
- 2 大規模開発行為工事進捗状況報告作成要領及び大規模開発行為異常気象・災害発生状況報告の手引は廃止する。

(様式第1号)

工 事 進 捗 状 況 表 (平成 年 月 日現在)

開 発 行 為 の 名 称		工 事 施 工 者	
開 発 行 為 者		工 事 期 間	着工 年 月 日 完了予定 平成 年 月 日
開 発 行 為 地		工事全体の進捗率	% 報告作成担当者 (電話 -)

工種	種 別	細 目	設 計 数 量	進 捗 状 況											
				年 月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
整 地	整地面積 切土 盛土 その他														
植 生	自然緑地 造成緑地														
防災施設	砂防ダム 調整池 土留擁壁 その他														
道路施設	進入道路 区域内道路 その他														
建物等施設	各種建築物 上水道施設 排水施設 污水处理施設 その他														
工 事 の 月 間 別 進 捗 率 (折線グラフで記入する。)			100%												
			90												
			80												
			70												
			60												
			50												
			40												
			30												
			20												
			10												

- (注)1.工事毎の進捗状況欄は、赤黒対象の二段書きとし、上段を計画(赤)、下段を施工(黒)とした棒グラフで記入し、確認の日部分に確認日の計画(赤)、施工(黒)の進捗率を記入すること。
2.細目欄は、種別の説明上特に区分する必要がある場合に記入すること。
3.設計数量は、整地面積等の規模を記入すること。
4.月間別進捗率は、月末毎の計画(赤)、施工(黒)の率を折線グラフと数字で記入すること。

災 害 報 告 書（土石流，土砂流用）

開発行為者

開発行為の名称														第 1 報 (月日時)	第 2 報 (月日時)	第 3 報 (月日時)	備 考	
発 生 場 所		(土地利用計画による施設等の名称)																
発 生 日 時		平成 年 月 日 時																
異 常 気 象 名																		
気 象 状 況	観 測 所 名																	
	連 続 雨 量	mm (月 日 時 ~ 月 日 時)																
	最 大 日 雨 量	mm (月 日 時 ~ 月 日 時)																
	最 大 時 間 雨 量	mm (月 日 時 ~ 月 日 時)																
	そ の 他 の 概 要	(雨量状況調査又は積雪・融雪状況調査に記入する)																
土 砂 流 出 状 況	土砂の流出形態	(土石流・土砂流)		土石流危険溪流名 ()		溪流番号 ()												
	溪 流 流 域 面 積	km ²		調査年														
	氾 濫 面 積	m ²		危険度		A		B		C		その他						
	流 出 土 砂 量	m ³		防 災 計 画 等		危険溪流の地域防災計画（市町村）への記載 (有・無) (昭和 年 月 記載)												公共土木施設被害は、破損等による流失・堆積を注する。
	堆積粒径（最大）	m				危険溪流の表示板設置 (有・無) (昭和 年 月 記載)												
	溪 床 縦 断 勾 配	1 /				避難基準雨量の設定 (有・無) 連続雨量 (mm) 時間雨量 (mm/h)												
保対	面積	農地		防 災 計 画 等		避難場所、経路の記載 (有・無)												
	人家戸数 戸	公共施設																
全象	人口 人																	
応 急 対 策	避難勧告・指示 (有・無) 発令日時 (月 日 時 分) 発令者 ()																	
	住民の自主的避難 (有・無) (月 日 時 避難) 避難人員 (世帯 人) 応急工事 ()																	
適 用 法 令 等	1. 砂防指定地 (M T S H) 2. 地すべり防止区域 (建・林・農) 3. 急傾斜地崩壊危険区域 4. 保安林 5. 河川区域 (一級・二級・準用・普通) 6. 建築基準法による災害危険区域 7. 宅地造成工事規制区域 8. 都市計画法に基づく開発許可制度の適用区域 9. 国有林・民有林 10. その他 ()																	
概況平面図		・土砂の氾濫、堆積、浸水状況等を明示する。 ・避難経路については実際の避難経路と地域防災計画に記載されている経路を合わせて記入する。 ・既砂防設備、指定地等を明示する。																
担当者氏名												発 信		受 信				

災 害 報 告 書 (がけ崩れ用)

開発行為の名称		開発行為者				
担当者名 (連絡先)		法 律	①規制区域指定前の工事 ②許可工事, 検査済証[有・無(未・不)] ③無許可工事 ④届出工事 ⑤無届工事 ⑥軽微な工事 ⑦重複し ているもの ⑧不明			
被災場所等	災害発生年月日:平成 年 月 日	気 象 条 件 等	① 集中豪雨(台風, 前線, 低気圧等) 連 続 雨 量:() mm 月 日 時 ② 梅雨前線, 秋雨前線等 月 日 時 ③ 融雪水 日 雨 量:() mm 月 日 時 ④ 地 震 () 最大時間雨量:() mm 月 日 時			
	被災場所: () 異常気象名: ()		観測所 名称 () 所在地 ()			
崩 壊 が け の 種 類	① 人口がけ イ. 盛土 ロ. 盛土と切土 ハ. 切土 ニ. 区別不明	② 自然がけ ③ 人工がけと 自然がけ ④ 不明	経 過 年 数			
	①造成中 ②5年未満 ③5年以上 ④不明	被 害 状 況	人 命 住 家 等 死者, 行方不明 () 名 負傷者 () 名 全 壊 () 戸 半 壊 () 戸 一部壊 () 戸 その他 ()			
崩 壊 前 の が け の 状 態	土 質	地質調査資料 (有・無)	①風化岩 ②軟岩 ③砂利 ④シラス ⑤関東ローム ⑥硬質粘土 ⑦真砂 ⑧砂又は砂質土 ⑨シルト質土 ⑩粘土 ⑪その他 ()	が け 崩 れ の 規 模 状 況 等	規 模 等	崩壊内容 { ① 法面のみ ② 擁壁のみ ③ 法面と擁壁 崩壊部分: 高さ () m, 巾 () m
	形 状	擁壁などの土留工部分: 高さ () m 勾配 () 法面部分 ・人工法面: 高さ () m 勾配 () ・自然法面: 高さ () m 勾配 ()			崩 壊 の パ タ ー ン	① 斜面内崩壊 ② 斜面先崩壊 ③ 底部破壊 ④ 表層破壊 ⑤ その他 ()
	が け の 保 護	①保護工なし ②法面のみ ③擁壁のみ ④法面と擁壁			崩 壊 の 主 要 原 因	① 雨水のがけ面表流 ② 雨水のがけ地盤への浸透 ③ 地下水の湧水 ④ がけ下端の掘削, 先削等 ⑤ がけ上端に続く地盤面への载荷重 ⑥ 擁壁構造等の粗悪(構造, 根入れ, 施工) ⑦ 地盤の地層構成 ⑧ 基礎地盤の軟弱 ⑨ がけにある排水施設の不備, 不良 ⑩ その他 ()
	保 護 工 法	保 護 工 法	①緑化工 ②構造物による法面保護工			
	崩 壊 擁 壁 の 施 工	水 抜 穴	裏 込 処 理			
		①有り { 設置数 (十分・不十分) 水の流出 ②無し ③不明	①有り { 裏込の厚さ (十分・不十分) 裏込水の流出 ②無し ③不明			

がけ崩れの状況(図示)

災害報告書（気象データ用）

開発行為の名称

開発行為者名

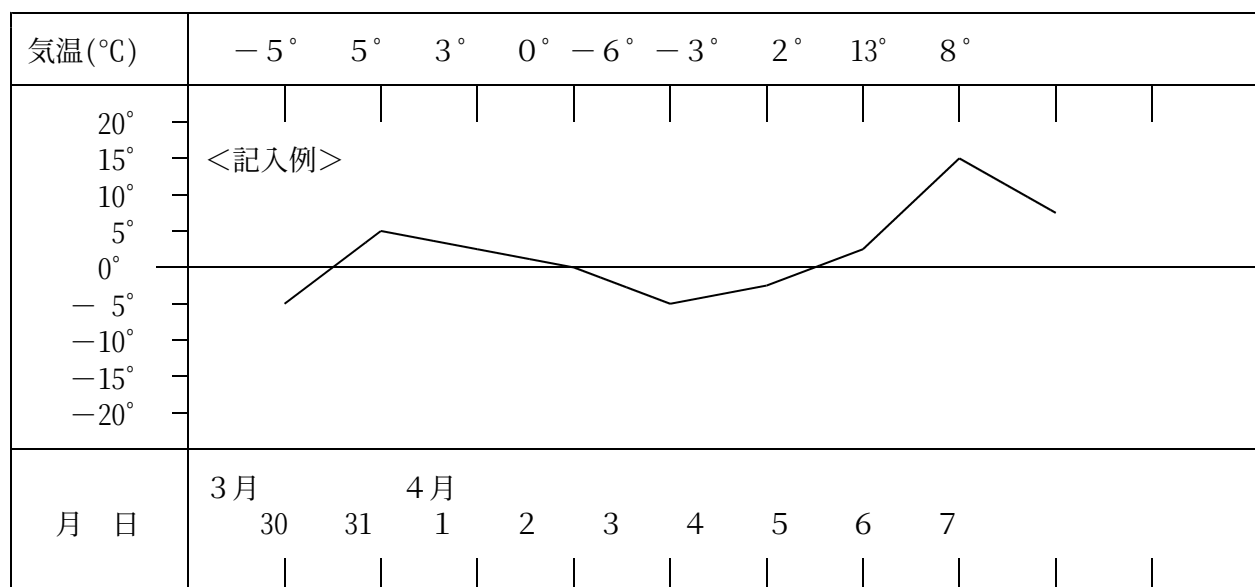
①土石流発生時刻（平成 年 月 日 AM・PM 時 分）

②気象資料観測所名（ ）

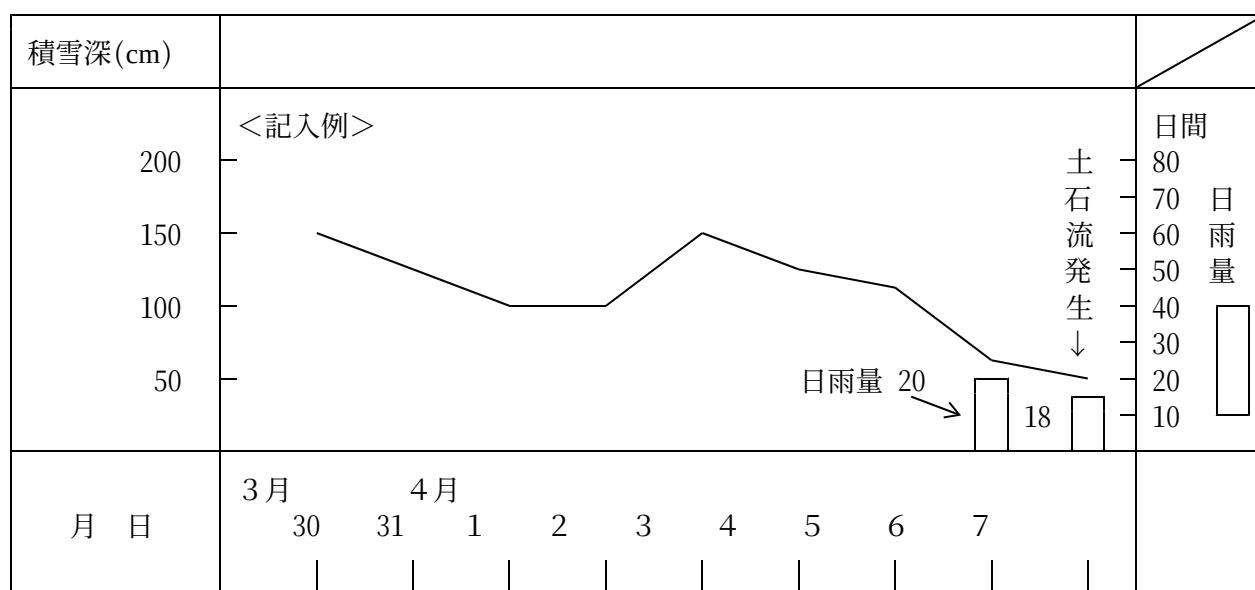
③観測所と土石流等発生渓流までの距離（ km）

④土石流等発生時の風向（ ），風力（ ）

⑤土石流等発生に関する気温（1週間）



⑥土石流等発生に関する積雪深及び日雨量（1週間）



様式第3号

降水状況報告書

雨 量 状 況 調 書		開発行為の名称 開発行為者名	
①観測所名			
②観測所と溪流との距離	km		
③土石流発生時期	月 日 時 分		
④土石流発生までの連続雨量および期間	mm 月 日 時 ～ 月 日 時		
⑤土石流発生時の時間雨量および期間	mm 月 日 時 ～ 月 日 時		
⑥土石流発生時の10分間雨量および期間	mm 月 日 時 ～ 月 日 時		
⑦「降りはじめ」以前1週間の連続雨量	mm		
⑧降雨の特徴 (台風, 前線性, 雷雨, 梅雨)			
時 間 雨 量 表			
時 ～ 時	mm / h	時 ～ 時	mm / h

- (注) 1 降りはじめ：それ以前に24時間以上の無雨量（雨量0 mmを含む）期間がある時点をいう。
 2 自記式雨量計等のデータがあれば，添付（写し可）のこと。